

日々 往来

河本 勝也



新しい日本
銀行券（紙幣）
が発行され、
1年がたちま
した。皆さま
のお財布の中
にも新しい銀行券が増えてきて
いるのではないかと思います。
現在、流通している銀行券の約
3割が新しい銀行券に切り替わ
っています。

これを20年前の改刷時と比較
しますと、前回は最初の1年間で
約6割が新しい銀行券に入れ
替わりましたので、今回の方が
入れ替え率が低い結果となって

新紙幣発行から1年

います。

こうした背景には、前回は偽造券（偽札）が社会的な問題となる中で、日本銀行としても新しい銀行券の供給量を増やして入れ替えに努めたことや、入れ替え率の分母に当たる銀行券流通高が約120兆円と前回の1・5倍になっていることが考えられます。なお、銀行券流通高と呼ばる日常の決済に用いられていないものも含まれていますが、皆さまのお財布の中の入替え率は3割よりも高いのではないかと思います。

また、銀行券流通高の経済規模（名目GDP）に対する比率を見ても、1900年以降、ほぼ全ての期間で10%弱の水準でしたが、90年代半ばから上昇し、最近では約20%と従来の2倍以上の水準となっています。

このように銀行券流通高が高水準となっている要因の一つは、低金利や物価が上がらない環境が続き、タンス預金のように現金のかたちで資産を持つことも損をしなかったことが考えられます。

（日本銀行鳥取事務所長）